

YAESU

Radio for Professionals

YAESU[®]
CONNECT PRO

特定小電力 トランシーバー

取扱説明書

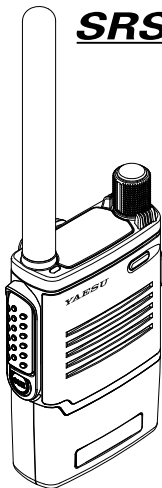
もっと便利に もっと簡単に

YAESU CONNECT PRO

自動混信回避機能搭載モデル

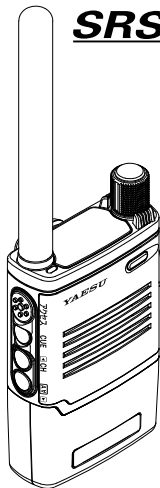
シンプルキーモデル

SRS90



多機能キーモデル

SRS95



お買い上げいただき、ありがとうございます
正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください
お読みになった後は、大切に保管してください

この無線機は国内専用モデルです
海外では使用できません

目次

はじめに	1
正しくご使用いただくために	1
ヤエスコネクトについて	1
正しくご使用になるために	2

各モード共通	
エリアリサーチ	4
基本的な通話のしかた	5
送信する時	5
受信する時	5
便利な機能	5
CUE (キュー) 機能で	
メンバーに合図を送る	5
ワンクリックハンズフリー機能	5
ご使用になる前の準備	6
充電をする	6
リチウムイオンバッテリー、	
乾電池ケースの取り付け / 取り外し	7
スピーカーマイク、タイピンマイクの	
接続 / 取り外し	7
各部の名前と機能	8
お使いになる前に	10

基本的な使いかた	
運用モードについて	12
① 1つのグループで使う	12
② 2つのグループで使う	13
MERGE (マージ) 機能	15
③ 3～7グループで使う	16
MERGE (マージ) 機能	17
PCA 機能	17
エリアリサーチによるチャンネル設定	18
困ったときに	20
もし通話ができなくなったときは	
エアクローンで同期をし直す	20
グループ以外の通話が聞こえる時は	
グループ ID を変える	21

応用編	
テレポート機能を変更する	24
1つのグループで使う場合の	
テレポート機能の項目リスト	25
2つのグループで使う場合の	
テレポート機能の項目リスト	26
3～7グループで使う場合の	
テレポート機能の項目リスト	28
マニュアルでチャンネルを変える	29
ワンクリックハンズフリー機能	30
マイクの感度を変える	31
アクセスキーを押した時の動作を変える	32
CUE 機能に関する設定	33
使用しないグループを消去する	34
チャンネルの表示をオン / オフする	35
画面の表示を 180 度回転させる	36
通話エリアを拡大する	
(中継器を使用する)	37
全体設定	38

ヤエスコネクトの機能を使わないモード	
現在のチャンネルを変更する	46
A チャンネルと B チャンネルの	
2つのチャンネルを使用する	47
通話エリアを拡大する	
(中継器を使用する)	48
ノーマルモード時のテレポート機能の	
項目リスト	49

正常に動かない時は、工場出荷時の	
状態に戻す (リセット)	50
故障かな?と思う前に	50
アフターサービス	51
防水性能について	51
定格	52
安全上のご注意～必ずお読みください～	53
索引	54

はじめに

- ご利用にあたって
- 本体背面に貼り付けてある“証明ラベル”を剥がしたり、“分解”や“改造”を行うことは、法律で禁止されています
- 他人の会話を聞いて、その内容を漏らすと法律で罰せられることがあります
- 免責事項
- 取扱説明書に記載の使用方法とは異なる使用方法により発生した故障、障害、損害について、当社は一切責任を負いません
- 本機を使用して生じた障害や損害について、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切責任を負いません

正しくご使用いただくために

- 本機にマイクロホンなどを接続する際は、必ず当社純正オプションを使用してください
当社純正品以外のオプションを使用すると、故障や破損の原因になります
当社純正品以外のオプションの使用が原因で生じた故障や破損、および事故などの損害については、弊社では一切責任を負いません
- リチウムイオンバッテリーを充電する際は、必ず当社指定の充電器を使用してください
当社指定以外の充電器を使用すると、火災や故障の原因になります
- 直射日光や熱風の当たる場所、水のかかる場所に放置しないでください
- 電波法により、無線機を分解・改造することは禁じられています
- 通話する際は、本機から約5センチ離して普通の声量で話してください
- 内部の点検・修理は、お買い上げいただきました販売店にご依頼ください



Li-ion

リチウムイオンバッテリーはリサイクルできます
リチウムイオンバッテリーが不要になった場合は廃棄せず、全国のリサイクル協力店、協力自治体、リサイクル協力事業者にご相談ください

ヤエスコネクトについて

ヤエスコネクトは自動混信回避機能を採用した新しい業務用通信機です

ヤエス コネクト - PRO

ヤエスコネクトプロでは、2つの受信部で同時に複数のチャンネルをモニターする混信回避機能を搭載しています

使用しているチャンネルに混信があると瞬時にモニターしている混信のないチャンネルへ移動して混信を回避します（MCM：マルチチャンネルモニター）

SRS90/SRS95は、ヤエスコネクトプロを搭載したトランシーバーです

ヤエス コネクト - Lite

ヤエスコネクトライトでは、1つの受信部で2つのチャンネルを交互に監視し、グループ以外の混信があると瞬時にチャンネルを移動して混信を回避します

使用しているチャンネルに混信があると瞬時に混信のないチャンネルへ移動して混信を回避しますので、混信が起こったことも気づかずに通話を行うことができます

正しくご使用になるために

- ① 使用する前に用途に合った運用モードを選びます
 - ・ 1つのグループで使う場合 → 12 ページ
 - ・ 2つのグループで使う場合 → 13 ページ
 - ・ 3～7グループで使う場合 → 16 ページ
 - ・ ヤエスコネクトの機能を使わない場合 → 46 ページ
- ② 1台の SRS90/SRS95 でエリアリサーチをします
→ 4 ページ
- ③ 使用する全ての SRS90/SRS95 にエアクロードでチャンネル情報を同期します → 4 ページ
- ④ 使用を開始します

① 1つのグループで使うモード (自動混信回避機能が使えます)



(MCM : マルチチャンネルモニター)



②

2つのグループで使うモード (混信がある時はテレポート機能で混信を回避)

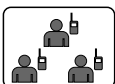
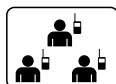
Gr-P1

- ・ホテルでのフロント周りの連絡とフロアレストラン内の連絡などで、同じエリアに2つの部門が別々に連絡を取り合うような業務に最適なモードです。
- ・**マージ機能**：通常はグループ内だけで連絡を行います。緊急時などの場合はマージ機能（特許出願中）で簡単にグループの垣根を無くして全てのスタッフと連絡を取り合うことができます。

普段はグループごとに
通話をします

グループ A

グループ B



緊急時などは
誰か1人が**CUE**
キーを長押し



グループの垣根を無くして
全員と連絡がとれます



- ・混信があるときはテレポートキーを長押しするだけで、スタッフ全員が別のチャンネルグループに自動で移動します。



i

① 1つのグループで使うモード（MCM：マルチチャンネルモニター）では、自動でチャンネルを移動しますので、テレポート機能を使う必要はありません。

③

3～7グループで使うモード

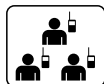
Gr-P

- ・フロント係、客室係、駐車場、レストランなど、複数のグループが別々に連絡を取り合う大型ホテルなどでの連絡に最適なモードです。
- ・グループ（最大7グループ）はテレポートキーを短押しして切り替えます。
- ・**マージ機能**：通常はグループ内だけで連絡を行います。緊急時などの場合はマージ機能（特許出願中）で簡単にグループの垣根を無くして全てのスタッフと連絡を取り合うことができます。

普段はグループ*ごとに
通話をします

グループ A

グループ B



...
※最大7グループ

緊急時などは
誰か1人が**CUE**
キーを長押し



グループの垣根を無くして
全員と連絡がとれます



④

ヤエスコネクトの機能を使わないモード

MCM

ヤエスコネクトプロの機能を持たないトランシーバーと通話する時のモードです。画面に表示されている1つのチャンネルで通話をおこないます。

エリアリサーチ

- 使用する前にエリアリサーチ機能を使うことで、使用するエリアの電波状態を分析してあらかじめ混信の少ないチャンネルを見つけることができます
- エリアリサーチを長時間（最低 30 分～1 時間）行うほど、より混信の少ないチャンネルを見つけることができます
- エリアリサーチで選んだチャンネルは、エアクローン機能で他の SRS90/SRS95 に簡単に同期することができます

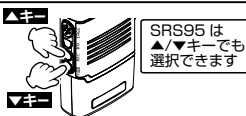
① 一台の SRS90/SRS95 でエリアリサーチを始める

テレポートキーを押しながら電源を入れます

ツマミをまわして電源を入れます



テレポートキーまたは CUE キーを短押しして“A-RSC”を選びます



テレポートキーを長押し



エリアリサーチを開始します
“A-RSC”が点滅します



そのまま放置します

② 他の SRS90/SRS95 にチャンネル情報を同期する

他の SRS90/95 のテレポートキーを押しながら電源を入れます

ツマミをまわして電源を入れます



エリアリサーチをした SRS90/95 のアクセスキーを短押しすると全ての SRS90/95 が新しいチャンネルへ同期します

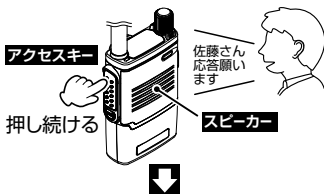


全ての SRS90/95 が通話できるようになります

基本的な通話のしかた

送信する時

アクセスキーを押しながら
スピーカーに向かって話します



話が終わったらアクセスキーを放します
“ビビッ”と音がして受信に戻ります

受信する時

ツマミをまわして聞きやすい
音量に調節します

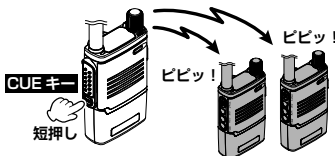


便利な機能

CUE（キュー）機能でメンバーに合図を送る

接客中などに、接客相手にわからない
ようにメンバーに合図を送ることができます

アラーム音などを変更することができます。
設定の変更方法は応用編の“CUE
機能に関する設定”（33 ページ）を
参照してください



ワンクリックハンズフリー機能

アクセスキーを“チョン”と押すだけで送信がスタートして、話をしている間は送信を続け、話すのをやめると自動で受信に戻る“ワンクリックハンズフリー”を使用すると、両手で作業をしながら通話ができますので効率よく作業を行うことができます。周りの音で受信に戻らない時はもう一度キーを押すと受信に戻ります。

1. CUE キーを押しながら電源を入れます
2. テレポートキーまたは CUE キー*を短押しして“F-01”を選びます
3. テレポートキーを長押しします
4. テレポートキーまたは CUE キー*を短押ししてハンズフリーの感度を選びます（30 ページ参照）
5. テレポートキーを長押しして設定を確定します
6. アクセスキーを短押しすると設定は完了です（自動で電源がオフ → オンになります）

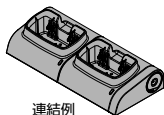


※ SRS95 の場合は [▲] / [▼] キーでも可

ご使用になる前の準備

充電をする（充電時間は約3時間）

SBH-59
デスクトップ1ポケット
充電器スリーブで充電する



連結例

SAD-52A
ACアダプタ

SBH-59を10台連結して
10台同時に充電可能

SDD-20
シガープラグ付きDCアダプタ

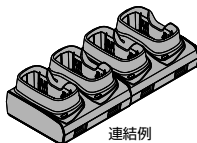
SBH-59を6台連結して
6台同時に充電可能

赤色点灯：充電中
緑色点灯：充電完了
赤色点滅：充電エラー

SAD-35A
ACアダプタ

SBH-59を連結して
使用することはできません

SBH-46
デスクトップ2ポケット
充電器スリーブで充電する



連結例

SAD-52A
ACアダプタ

SBH-46を5台連結して
10台同時に充電可能
※USB端子未使用時

SDD-20
シガープラグ付きDCアダプタ

SBH-46を3台連結して6台同時に
充電可能
※USB端子未使用時

赤色点灯：充電中
緑色点灯：充電完了
赤色点滅：充電エラー

USB端子

USB Type-Cで充電する



MCU-50
充電器スリーブ

市販のUSB Type-C充電器（1A以上）に
接続します。

SCU-65
USB充電ケーブル
Type-C - Type-C

赤色点灯：充電中
緑色点灯：充電完了
赤色点滅：充電エラー



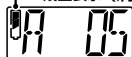
使用可能時間*：約 20 時間（ノーマルモード）

※送信 6 秒、受信 6 秒、待受 48 秒の繰り返し運用を想定
（バッテリーセーブ機能オン）

ローバッテリーアラート機能

電池が少なくなると電池マークの表示とアラーム音で知らせます

残量表示（満充電時は表示されません）



使用できる残り時間は目安です

残り約2時間

残り約1時間

残り約30分

残り約5分



3回続けて
“ビビビビ”と
鳴ると電源が
切れます

10分間隔で
“ビビビビ”と
鳴ります

2分間隔で
“ビビビビ”と
鳴ります

30秒間隔で
“ビビビビ”と
鳴ります

リチウムイオンバッテリー、乾電池ケースの取り付け / 取り外し

単3形アルカリ乾電池3本で使用する時は、オプションの“SBT-18”が必要です

取り付けかた



① カチッというまで
スライドさせます

取り外しかた



① ロックノブを上
にスライドさせて
② 左にスライドさせます

乾電池の入れかた

① フタを開けます



SBT-18

② 乾電池を入れて
フタを閉めます



マンガン乾電池は使用できません。また、充電式の単3形電池も使用できません

スピーカーマイク、タイピンマイクの接続 / 取り外し

接続



奥までしっかり
挿し込む

取り外し



① ロックノブを上
にスライドさせる

② プラグを抜く



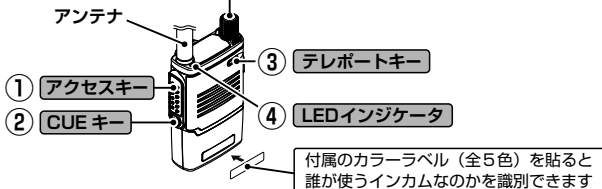
スピーカーマイクやタイピンマイク、イヤピースは、当社純正オプションを使用してください。当社純正品以外のオプションによる故障や破損、事故などの損害については、弊社では一切責任を負いかねます

各部の名前と機能

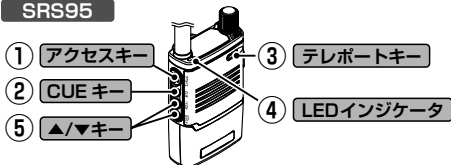
SRS90

電源スイッチ / 音量調節ツマミ

右にまわして電源を入れて、聞きやすい音量に調節します
“カチッ”というまで左にまわして電源を切ります



SRS95



① アクセスキーの操作

送信する時に押します

押している間は送信を続け、放すと受信に戻ります

ワンクリックハンズフリー機能でワンクリックするだけで送信状態を維持できます
(機能設定項目 **F-01** (40 ページ))

② CUE キーの操作

1つのグループで
使うモードの時

短押し → CUE 機能でメンバー全員にアラームを鳴らして合図を送ることができます

長押し → 構内アナウンス用ワイヤレススピーカーから音声を出すことができます

2つのグループで
使うモードの時
3～7グループ
で使うモードの時

短押し → CUE 機能でメンバー全員にアラームを鳴らして合図を送ることができます

長押し → マージ機能でグループ全体で連絡を取り合うことができます

③

テレポートキーの操作

1つのグループで使うモードの時	短押し → 使用するチャンネルが切り替わります
2つのグループで使うモードの時	短押し → A グループと B グループを切り替えます 長押し → テレポート動作でチャンネルを自動で変更します
3～7グループで使うモードの時	短押し → 別のグループへ移動します

テレポート機能の設定を変える

詳しくは“テレポート機能を変更する”(24 ページ参照)を参照してください

④

LED インジケータ

緑点灯：受信中

緑点滅：異なるグループ ID を受信したとき（音声はミュートになって受信できません）
個別の設定（全体設定項目）を変更中

赤点灯：送信中

オレンジ点灯：マージ（MERGE）機能で送信中

赤と緑の点滅：エリアリサーチ機能動作中

赤の速い点滅：チャンネルが使用中で送信できないとき

⑤

▲ / ▼キーの操作（SRS95 のみ）

▲キー	▼キー
1つのグループで使うモードの時 機能は割り当てられていません	全てのモード 短押し → 画面表示を上下逆にします 長押し → チャンネル番号を非表示にします。もう一度長押しすると元に戻ります
2つのグループで使うモードの時 短押し → A グループと B グループの切り替え 長押し → 機能は割り当てられていません	
3～7グループで使うモードの時 機能は割り当てられていません	

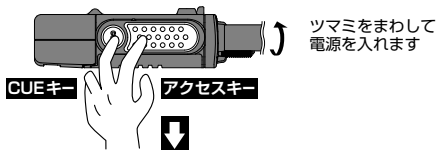
お使いになる前に

4つのモードから用途に合ったモードを選べば、すぐに業務にあった柔軟な運用が可能です。出荷時は“1つのグループで使うモード”になっていますので、そのままご使用になる場合は運用モードを変える必要はありません。

① 始めに運用モードを変更する

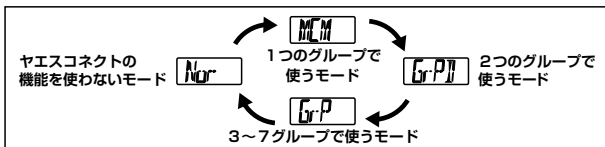
モードを変える準備を行う

- ① 1台のSRS90/95でCUEキーとアクセスキーを押しながら電源を入れます



モードを変える

- ② テレポートキーを短押ししてモードを選びます



エアクローンで同期する

- ③ 他のSRS90/95をテレポートキーを押しながら電源を入れます



- ④ モードを変えたSRS90/95のアクセスキーを短押しします

情報が転送されて全てのSRS90/95が自動で同じモードになります



運用モードは始めに設定を行えば、その後は変更する必要はありません

- ② 必要であれば使用エリアの電波状態から混信の少ないチャンネルを自動で探します → エリアリサーチを行う 18 ページ
(テレポートキーを押しながら電源を入れる)

設定後はエアクローンで全ての SRS90/SRS95 を同期してください
混信の少ないエリアでは、エリアリサーチを行う必要はありません

- ③ テレポート機能の変更
(テレポートキーを押しながら電源を入れる) 24 ページ

テレポート機能に関する設定を変更します

通常は変更する必要はありません

設定後はエアクローンで全ての SRS90/SRS95 を同期してください

- ④ 全体設定 (CUE キーを押しながら電源を入れる) 38 ページ

詳細な設定を変更します

通常は変更する必要はありません

秘話設定は、設定後に“8-CPY”で他の全ての SRS90/SRS95 にコピーしてください



本機の工場出荷時は、混信回避で使う A チャンネル～L チャンネルには以下のチャンネルが割り当てられています。エリアリサーチでそのエリアの混信の少ないチャンネルに書き変わります

A	B	C	D	E	F	G	L
05	18	02	16	07	13	19	11

運用モードについて

ご使用の前に業務にあったモードに設定してください

ヤエスコネクトプロは用途にあわせて4つのモードを選べますので、面倒な設定をしなくてもそのまますぐに業務にあった柔軟な運用が可能です

① 1つのグループで使う

運用モードを“MCM”に設定します。モードの変えかたは10ページをお読みください

混信があった時は、何もしなくても自動で瞬時に混信のないチャンネルへ移動、何事もなかったかのように続けて通話を行うことができます。混信が起きて通話ができなくなるとい問題がなくなり、特に繁華街や複数の施設が入っている複合ビルなどで安心して通話を行うことができます



運用中にチャンネルが変わっている事がありますが、これは混信があった時に自動で空いているチャンネルへ移動する機能が動作したためですので、そのまま通話を続けることができます

混信があると自動で混信のないチャンネルへ移動しますが、あらかじめ設定されている7つのチャンネルの間をテレポートキーを押して手動で移動することもできます
工場出荷時は A チャンネル～ G チャンネルには以下のチャンネルが設定されています

A	B	C	D	E	F	G
05	18	02	16	07	13	19

トランシーバーが自動で混信を回避してくれますので、混信があっても気にすることなく通話を続けることができます

混信があると任意の7チャンネルの中から空いているチャンネルへ自動で移動します
7チャンネルは、エリアリサーチで新しいチャンネルへ移動することができます
任意のチャンネル変更については“エリアリサーチによるチャンネル設定”(18ページ)を参照してください
個別にチャンネルを設定したい時は“マニュアルでチャンネルを変える”(29ページ)をお読みください

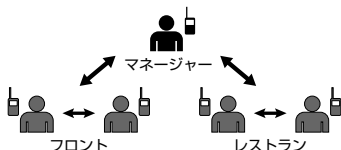
他人の声が聞こえる時は、グループIDを変更します
変更の方法は“グループ以外の通話が聞こえる時はグループIDを変える”(21ページ)をお読みください

通話ができないときは、エアクローンで全てのSRS90/95の設定を同期してください
エアクローンの方法は“もし通話ができなくなったときはエアクローンで同期をし直す”(20ページ)をお読みください

② 2つのグループで使う

運用モードを“GrPD”に設定します。モードの変えかたは 10 ページをお読みください

ホテルでのフロント周りの連絡とフロアレストラン内の連絡などで、同じエリアに2つの部門が別々に連絡を取り合うような業務に最適なモードです。マネージャーは両方のチャンネルを同時に聞くことができますので、常に全体の動きを把握することができます



グループ内だけで連絡を行います。緊急時はマージ機能(CUE キーの長押し)でグループ間の垣根をなくして全員と連絡を取り合うことができます
マージ機能については 15 ページの“MERGE (マージ) 機能”をお読みください

マネージャーは所属グループを“2G MG”にマネージャー以外は“2G A/B”に設定します

設定方法は次ページの“所属グループを選ぶ”をお読みください

“2G MG”では、信号を受信した時のビープ音で A グループの信号か B グループの信号かを区別できます

A グループの信号を受信した時 → ブツ

B グループの信号を受信した時 → ブブツ

一つのグループで常に情報を送信しながら、メンバーがその間に割り込み通信を行う必要があるような業務に最適です

倉庫から交換用の商品をサービスカウンターまでお願いします
え〜と…品番は…



大至急！レジの応援をお願いします！

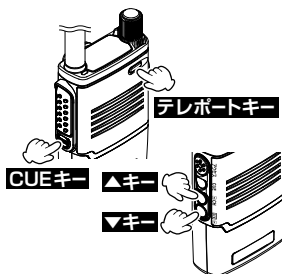
この運用を行う場合は、所属グループ全てのメンバーを“A+B”に設定します
設定方法は次ページの“所属グループを選ぶ”をお読みください

運用中にチャンネルが変わっている事がありますが、これは混信があった時に自動で空いているチャンネルへ移動する機能が動作したためですので、そのまま通話を続けることができます

所属グループを選ぶ

1. テレポートキーを押しながら電源を入れます
2. テレポートキーまたは CUE キー^{*}を短押しして“2G AB”を選びます
3. テレポートキーを長押しします
4. さらにテレポートキーまたは CUE キー^{*}を短押しして所属グループを選びます

※ SRS95 の場合は [▼]/[▲] キーでも可



	テレポートキーを短押しして A グループと B グループを手動で切り替えます ・ SRS95 は▲キーを短押ししても切り替えることができます
 (マネージャー)	A グループと B グループの両方の受信音声を同時に聞くことができます 送信はテレポートキーを短押しして A グループ、B グループのどちらかを選びます ・ SRS95 は▲キーを短押ししても切り替えることができます
	A グループと B グループの両方の受信音声を同時に聞くことができます 送信は、自動で信号のない方のグループでおこないます

5. テレポートキーを長押しして設定を確定します
6. “エアクローン”で、他の SRS90/95 を同期します (20 ページ)

混信があった時はテレポートキーの長押しで、メンバー全員のチャンネルを自動的に混信のないチャンネルへ移動することができます

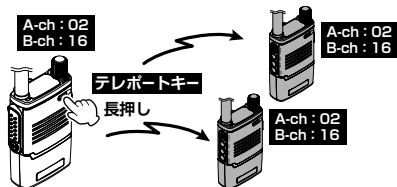
他人の声が聞こえる時は、グループ ID を変更します
 変更の方法は“グループ以外の通話が聞こえる時はグループ ID を変える” (21 ページ) をお読みください

通話ができないときは、エアクローンで全ての SRS90/95 の設定を同期してください
 エアクローンの方法は“もし通話ができなくなったときはエアクローンで同期をし直す” (20 ページ) をお読みください

混信があるときに自動で混信が起りにくいチャンネルと入れ換える

混信があるときにテレポートキーの**長押し**で、AチャンネルとBチャンネルのチャンネルを自動で混信が起りにくいチャンネルと入れ換えます（テレポート機能）

一人がテレポートキーを長押しします



スタッフ全員の SRS90/95 が混信が起りにくいチャンネルに移動します



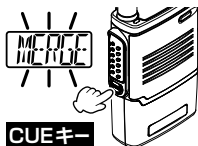
所属グループ設定を“A+B”にして運用時は、混信が多いときは画面に“TP”が表示され、テレポート機能を使ってチャンネルを変えることを推奨します

MERGE（マージ）機能

（所属グループの垣根を取り払って全員と連絡を取り合う）

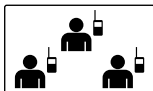
CUE キーを**長押し**すると、グループ全員と連絡をとることができます
通常はグループ内だけで連絡を行います、緊急時はグループ間の垣根をなくして全員と連絡を取りあうことができます

1. CUE キーを**長押し**します → “MERGE” の表示になったら放します
2. アクセスキーを押して話すと、全てのグループ全員と連絡がとれます
送信中は “MERGE” の表示点滅します
3. 再び CUE キーを**長押し**すると、各グループごとの通信に戻ります
もとのグループチャンネル表示に戻ります

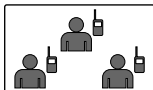


グループで別々に
通話ができます

グループ A



グループ B



誰か 1 人が
CUE キーを長押し



グループの垣根を無くして
全員で通話ができます

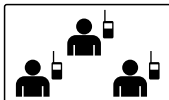


③ 3～7グループで使う

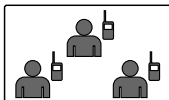
運用モードを“GrP”に設定します。モードの変えかたは 10 ページをお読みください
フロント係、客室係、駐車場、レストランなど、複数のグループが別々に連絡を取り合う
ホテルなどでの連絡に最適なモードです。最大7つのグループまで設定することができ、
通常はグループ内だけで連絡を行います。緊急時はグループ間の垣根をなくして全員と
連絡を取りあうことができます

グループで別々に
通話ができます

グループA



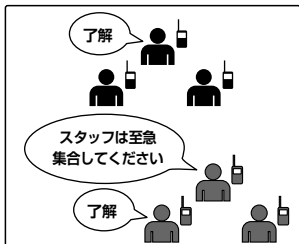
グループB



誰か1人が
CUEキーを長押し



グループの垣根を無くして
全員で通話ができます



テレポートキーで選んだグループのメンバーとだけ通話ができます。他のグループとは通話できません

緊急時は、CUE キーを**長押し**するとグループ間の垣根をなくして全員と連絡を取り合うことができます（マージ機能）

フロント係は“Aグループ”、客室係は“Bグループ”、駐車場係は“Cグループ”のように、部門ごとに使用するグループチャンネルを選んで使うことができます

最大7グループで使うことができます。始めに必要なグループの数を決めて必要のないグループは消去することができます。消去の方法は“使用しないグループを消去する”（34 ページ）をお読みください

グループを選ぶ（Aグループ～Gグループ）

テレポートキーを**短押し**するたびに A グループ～ G グループを順番に切り替えます

画面で、選択したグループを確認して通話を行います



テレポートキー
短押し

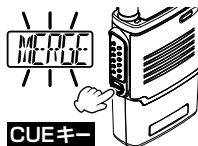
MERGE (マージ) 機能

(所属グループの垣根を取り払って全員と連絡を取り合う)

CUE キーを**長押し**すると、グループ全員と連絡をとることができます

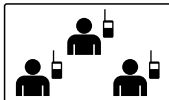
通常はグループ内だけで連絡を行います。緊急時はグループ間の垣根をなくして全員と連絡を取りあうことができます

1. CUE キーを**長押し**します → “MERGE” の表示になったら放します
2. アクセスキーを押して話すと、全てのグループ全員と連絡がとれます
送信中は “MERGE” の表示点滅します
3. 再び CUE キーを**長押し**すると、各グループごとの通話に戻ります
もとのグループチャンネル表示に戻ります

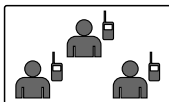


グループで別々に
通話ができます

グループ A



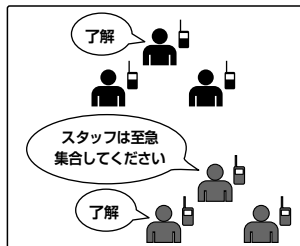
グループ B



誰か 1 人が
CUE キーを長押し



グループの垣根を無くして
全員で通話ができます



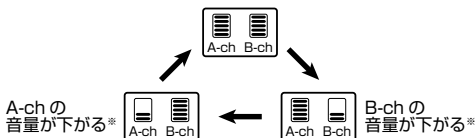
PCA 機能

(2つの音声が同時に聞こえたとき片方の音声を調節して聞きやすくする)

マネージャーが受信中に2つの音声が同時に聞こえたときは、音声を聞きながらテレレポートキーを押すと片方の音量を調節することができます

テレレポートキーを押すたびに音量が下図のようになります

A-ch と B-ch 同じ音量になる



※所属グループを “2G MG” に設定している時は、音声はミュート (消音) されます

エリアリサーチによるチャンネル設定

エリアリサーチ機能は、使用するエリアの電波状態を分析して、あらかじめ混信が起こりにくいチャンネルを選ぶことができます

使用する前にエリアリサーチ機能を使って混信の少ないチャンネルを見つけます

1 台の SRS90/95 でエリアリサーチを始める

①

テレポートキーを押しながら電源を入れます

ツマミをまわして電源を入れます



"RX"が表示されます



②

テレポートキーまたは CUE キーを短押しして "A-RSC" を選びます



SRS95 は
▲/▼キーでも
選択できます



③

テレポートキーを長押し



エリアリサーチを
開始します
"A-RSC" が点滅します

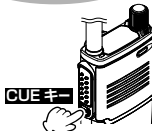


④

そのままの状態しばらく放置します

エリアリサーチ機能が
電波の使用状況を
自動的に分析

エリアリサーチ機能は
数分間から数時間
行ってください



途中で CUE キーを長押しすると今まで蓄積された電波状況は消去されます





他の SRS90/95 にチャンネル情報を同期する

⑤

他の SRS90/95 の
テレポートキーを押し
ながら電源を入れます

ツマミをまわして
電源を入れます



“RX”が表示されます



⑥

エリアリサーチをしたSRS90/95
のアクセスキーを短押しすると全て
のSRS90/95が新しいチャンネル
へ同期します



設定した情報が送信されます

“TX”が点滅します



⑦

全ての SRS90/
95 が通話できる
ようになります

基本的な使いかた
— エリアリサーチ

困ったときに

もし通話ができなくなったときはエアクローンで同期をし直す

グループのメンバーと通話ができなくなった場合や、通話に関する設定を変えたときは、エアクローンで同期をとることで再び通話ができるようになります

①

全ての SRS90/95 で
テレポートキーを押しながら
電源を入れます

ツマミをまわして電源を入れます



"RX"が表示されます



②

1 台の SRS90/95 の
アクセスキーを短押すると全ての SRS90/95 が
同期されます



設定した情報が送信されます

"TX"が点滅します



③

全ての SRS90/
95 が通話ができ
ようになります

グループ以外の通話が聞こえる時はグループ ID を変える

- ・グループ ID は、その信号がメンバーの信号かどうかを判断する時に使いますので、メンバー全員が同じグループ ID 番号にする必要があります
- ・工場出荷時はグループ ID が“00”になっています（他のグループの声が聞こえるような場合はグループ ID を変えてください）
- ・ID が異なる他のグループの信号が入ると、1つのグループで使用するモードでは自動で混信のないチャンネルへ移動します。2つのグループで使用するモードと3～7グループで使用するモードでは ID が異なる信号はミュートになり聞こえません



1 台のグループ ID を変更してからエアクローンで 全ての SRS90/95 を新しいグループ ID に同期する

①

テレポートキーを押しながら電源を入れます
ツマミをまわして電源を入れます

緑色で点滅
テレポートキー
“RX”が表示されます

②

テレポートキーを短押しすると ID 番号が表示されます
“00”～“99”のいずれかが表示されます

テレポートキー
IDが“01”の場合

③

テレポートキーを長押し

テレポートキー
数字が点滅します

④

テレポートキーまたは CUE キーを短押しして“01”から“99”の任意の ID 番号にします

短押し (+方向)
短押し (-方向)
CUE キー
テレポートキー

▲キー
▼キー
SRS95 は ▲/▼キーでも選択できます

⑤

テレポートキーを長押しすると ID 番号が確定します

長押し
テレポートキー

エアクローンで全ての SRS90/95 と ID 番号を同期させます
操作方法は“もし通話ができなくなったときはエアクローンで同期をし直す”（左ページ）を参照してください

応用編

必要に応じて各種設定を変更することができます

テレポート機能を変更する（通常は変更する必要はありません）

①

テレポートキーを押しながら電源を入れます

ツマミをまわして電源を入れます



“RX”が表示されます



②

テレポートキーまたは CUE キーを短押しして設定する項目を選びます



グループ ID を選んだ場合の表示

SRS95 は
▲/▼キーでも
選択できます

▲キー
▼キー

③

テレポートキーを長押し

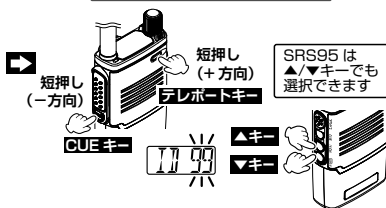


現在の設定値が
点滅します



④

テレポートキーまたは CUE キーを短押しして設定を変えます



SRS95 は
▲/▼キーでも
選択できます

▲キー
▼キー

⑤

テレポートキーを長押しすると設定を確定します



⑥

他の SRS90/95 の
テレポートキーを押しながら電源を入れます



“RX”が表示されます

⑦

設定を変えた SRS90/95 のアクセスキーを短押ししてエアクローンで他の SRS90/95 を同期させます



“TX”が点滅します

そのままご使用に
なれます

1つのグループで使う場合のテレポート機能の項目リスト

グループ内の全ての SRS90/SRS95 の設定内容を同期したり、必要に応じて混信を気にせずに通信できる各種の設定を変更します

テレポートキーを押しながら電源を入ると、設定モードになります

項目	出荷時の設定	機能
エアクローン 1台の SRS90/95 で設定した内容を他の SRS90/95 にコピーすることができます	—	 エアクローン受信待機  エアクローン送信 操作方法は“もし通話ができなくなったときはエアクローンで同期をし直す”(20ページ)を参照してください
グループ ID 同じグループであることを識別する ID 番号です。ID 番号が違っていると通話できません。他のグループが同じ ID 番号を使っている場合は、ID 番号を変えます		 “ID 00” ~ “ID 99” の中から選びます 操作方法は“グループ ID を変える”(21ページ)を参照してください
テレポート送信 チャンネルを手動で変更できないようにすることができます	 通常は ON で 使用します	 混信があると自動で混信のないチャンネルに移動します。チャンネルは手動でも移動できます  混信があると自動で混信のないチャンネルに移動します。チャンネルは手動で変えることはできません
A チャンネル～L チャンネル “A” から “L” のそれぞれに設定されたチャンネルを手動で変えることができます	       	“01” ~ “20” の中から選びます すでに他のチャンネル (A ~ G、L) に割り当てられているチャンネルを選ぶことはできません チャンネルの変更方法は“マニュアルでチャンネルを変える”(29ページ)を参照してください
エリアリサーチ 現在のエリアの電波状態を分析して、A～Lの全てのチャンネルを混信が起こりにくいチャンネルに設定します		 エリアリサーチ中 (点滅) 操作方法は“エリアリサーチによるチャンネル設定”(18ページ)を参照してください

2つのグループで使う場合のテレポート機能の項目リスト

項目	出荷時の 設定	機能
エアクローン 1台のSRS90/95で設定した内容を他のSRS90/95にコピーすることができます	—	 エアクローン受信待機  エアクローン送信 操作方法は“もし通話ができなくなったときはエアクローンで同期をし直す”（20ページ）を参照してください
グループ ID 同じグループであることを識別するID番号です。ID番号が違っていると通話できません。他のグループが同じID番号を使っていると混信が起こる場合は、ID番号を変えます		 “ID 00” ~ “ID 99”の中から選びます 操作方法は“グループ以外の通話が聞こえる時はグループIDを変える”（21ページ）を参照してください
テレポート送信 混信があるときにテレポートキーを 長押し すると、自動で混信が起こりにくいチャンネルに移動する機能の動作をオフにします	 通常は oNで 使用します	 テレポートキーを長押しすると自動で混信が起こりにくいチャンネルに移動します  テレポート機能は動作しません
所属グループ 所属グループ 2G AB テレポートキーまたは▲キーを押して手動でグループ A、グループ B のどちらかに切り替えて通信を行います 所属グループ 2G MG グループ A、グループ B の同時受信が可能で、送信はテレポートキーまたは▲キーを押して手動で切り替えます 所属グループ A+B グループ A、グループ B の同時受信が可能で、送信は自動で切り替わります		 受信、送信共にテレポートキーを押して手動で切り替え 受信：A-ch と B-ch の同時受信可能 送信：A-ch と B-ch を手動で切り替え  受信：A-ch と B-ch の同時受信可能 送信：A-ch と B-ch を自動で切り替え

項目	出荷時の設定	機能
A チャンネル～L チャンネル “A” から “L” のそれぞれに設定されたチャンネルを変えることができます		“01” ～ “20” の中から選びます すでに他のチャンネル（A ～ G、L）に割り当てられているチャンネルを選ぶことはできません チャンネルの変更方法は“マニュアルでチャンネルを変える”（29 ページ）を参照してください
エリアリサーチ 現在のエリアの電波状態を分析して、A ～ L の全てのチャンネルを混信が起こりにくいチャンネルに設定します		 A-RSC  エリアリサーチ中（点滅） 操作方法は“エリアリサーチによるチャンネル設定”（18 ページ）を参照してください

3～7グループで使う場合のテレポート機能の項目リスト

項目	出荷時の設定	機能
エアクローン 1台のSRS90/95で設定した内容を他のSRS90/95にコピーすることができます	—	 エアクローン受信待機  エアクローン送信 操作方法は“もし通話ができなくなったときはエアクローンで同期をし直す”（20ページ）を参照してください
グループID 同じグループであることを識別するID番号です。ID番号が違っていると通話できません。他のグループが同じID番号を使っていると混信が起こる場合は、ID番号を変えます		 “ID 00”～“ID 99”の中から選びます 操作方法は“グループ以外の通話が聞こえる時はグループIDを変える”（21ページ）を参照してください
Aグループ～Lグループ 7つのグループから使用しないグループを消すことができます “GA”から“GL”のそれぞれに設定されたチャンネルを手動で変えることができます	       	必要なグループチャンネルだけを表示することができます（GAとGLは非表示にできません） 操作方法は“使用しないグループを消去する”（34ページ）を参照してください GA～GLに設定されたチャンネルを手動で変えることができます ・“01”～“20”の中から選びます ・すでに他のグループチャンネル（GA～GG、GL）に割り当てられているチャンネルを選ぶことはできません チャンネルの変更方法は“マニュアルでチャンネルを変える”（29ページ）を参照してください
エリアリサーチ 現在のエリアの電波状態を分析して、GA～GLの全てのチャンネルを混信が起こりにくいチャンネルに設定します		 エリアリサーチ中（点滅） 操作方法は“エリアリサーチによるチャンネル設定”（18ページ）を参照してください

マニュアルでチャンネルを変える（通常は変える必要はありません）

チャンネル A～G（3～7グループで使うモードでは GA～GG）には出荷時に予め任意のチャンネルが設定されていますが、それぞれのチャンネルを 01～20 の中から選んで変更することができます

変更する方法は、エリアリサーチ機能を使って自動で新たにチャンネルを設定するか、手動でチャンネルごとに希望するチャンネルを設定する方法があります

① エリアリサーチで設定する

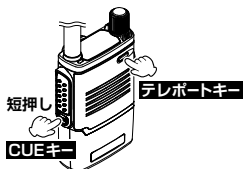
エリアリサーチの方法は“エリアリサーチによるチャンネル設定”（18 ページ）を参照してください

② 手動で設定する

はじめに 1 台のチャンネルを変更する

1. 一度電源を切ります
2. テレポートキーを押しながら電源を入れます
3. テレポートキーまたは CUE キー※を短押しして変更したいチャンネルを選びます
4. テレポートキーを長押しします
チャンネル番号が点滅します
5. テレポートキーまたは CUE キー※を短押ししてチャンネルを変えます
6. テレポートキーを長押しします
7. 下記の“エアクローン”で、他の SRS90/95 へ変更したチャンネルをコピーします

※ SRS95 の場合は [▲]/[▼] キーでも可



次に他の SRS90/95 へ変更したチャンネルをエアクローンで同期する

①

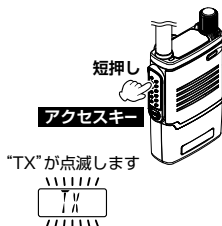
全ての SRS90/95 でテレポートキーを押しながら電源を入れます

つまみをまわして電源を入れます



②

チャンネルを変えた SRS90/95 のアクセスキーを短押しすると全ての SRS90/95 が自動で同じチャンネルになります

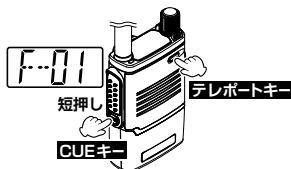


ワンクリックハンズフリー機能

- ・アクセスキーを“チョン”と押すだけで送信がスタートして、話をしている間は送信を続け、話すのをやめると自動で受信に戻る“ワンクリックハンズフリー”を使用すると、両手で作業をしながら通話ができますので効率よく作業を行うことができます
周りの音で受信に戻らない時はもう一度キーを押すと受信に戻ります
- ・オプションのタイピンマイク、スピーカーマイクをご使用ください

設定方法

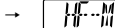
1. CUE キーを押しながら電源を入れます
 2. テレポートキーまたは CUE キー*を**短押し**して“F-01”を選びます
 3. テレポートキーを**長押し**します
 4. テレポートキーまたは CUE キー*を**短押し**してハンズフリーの感度を選びます（下記参照）
 5. テレポートキーを**長押し**して設定を確定します
 6. アクセスキーを**短押し**すると設定は完了です（自動で電源がオフ → オンになります）
- ※ SRS95 の場合は [▲]/[▼] キーでも可



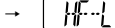
ワンクリックハンズフリー機能の感度を調節する

話をやめたのに受信状態に戻らない時や、逆に話をしているのに受信状態に戻ってしまう場合は、感度を変えてください

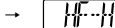
通常はこの設定で使えます



話をやめたのに受信状態に戻らない場合



話をしているのに受信状態に戻ってしまう場合

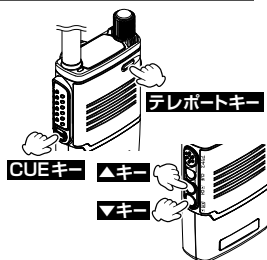


マイクの感度を変える

相手から「声が小さい」「声が大きい」と言われた時に、機能設定項目で、内部マイクおよび外部マイク使用時は外部マイクのマイク感度を変えることができます

設定方法

1. CUE キーを押しながら電源を入れます
2. テレポートキーまたは CUE キー*を**短押し**して設定する項目（下記参照）を選びます
3. テレポートキーを**長押し**します
4. テレポートキーまたは CUE キー*を**短押し**して設定を変えます
5. テレポートキーを**長押し**して設定を確定します
6. アクセスキーを**短押し**すると設定は完了です（自動で電源がオフ → オンになります）



※ SRS95 の場合は [▲]/[▼] キーでも可

◎ マイクの感度を設定する → “6-MCI” で設定します



マイク感度は Lo 1 ↔ Lo 2 ↔ MID ↔ HI 1 ↔ HI 2 から選べます
感度小 感度大

工場出荷時は “MID” に設定されています

◎ 外部マイクを使っている時のマイク感度を設定する

→ “7-MCE” で設定します



マイク感度は Lo 1 ↔ Lo 2 ↔ MID ↔ HI 1 ↔ HI 2 から選べます
感度小 感度大

工場出荷時は “MID” に設定されています

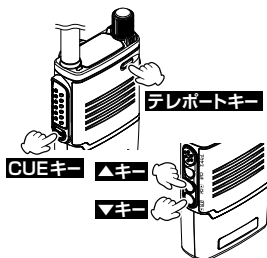
アクセスキーを押した時の動作を変える

工場出荷時は、アクセスキーを押し続けている時だけ送信し、放すと受信に戻る動作になっています

この動作を、両手で作業をしながら通話ができる“ワンクリックハンズフリー”にしたり“連続送信”や“受信専用（送信禁止）”にすることができます

設定方法

1. CUE キーを押しながら電源を入れます
2. テレポートキーまたは CUE キー※を**短押し**して“F-01”を選びます
3. テレポートキーを**長押し**します
4. テレポートキーまたは CUE キー※を**短押し**して動作を選びます（下表参照）
5. テレポートキーを**長押し**して設定を確定します
6. アクセスキーを**短押し**すると設定は完了です（自動で電源がオフ → オンになります）



※ SRS95 の場合は [▲]/[▼] キーでも可

キーを押し続けているときだけ送信し、放すと受信に戻ります（工場出荷時の設定） → PTT

キーを短押しして送信を開始し、話し終わると自動で受信に戻ります
周りの騒音が激しく誤動作する時はこの設定にします → HF-L

キーを短押しして送信を開始し、話し終わると自動で受信に戻ります
通常はこの設定で使います → HF-M

キーを短押しして送信を開始し、話し終わると自動で受信に戻ります
話しているのに受信状態に戻ってしまう場合はこの設定にします → HF-H

キーを短押しすると送信を開始し、もう一度短押しするまで送信を
続けます → CNT

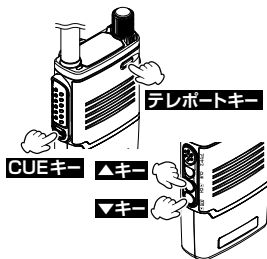
キーを押しても送信しません。受信専用になります → OFF

CUE 機能に関する設定

機能設定項目で、CUE 機能に関する設定をすることができます

設定方法

1. CUE キーを押しながら電源を入れます
2. テレポートキーまたは CUE キー^{*}を**短押し**して、設定する項目（下記参照）を選びます
3. テレポートキーを**長押し**します
4. テレポートキーまたは CUE キー^{*}を**短押し**して、設定を変えます
5. テレポートキーを**長押し**して設定を確定します
6. アクセスキーを**短押し**すると設定は完了です
(自動で電源がオフ → オンになります)



※ SRS95 の場合は [▲]/[▼] キーでも可

◎ CUE 信号を受信した時のアラーム音量を調節する

→ “3-CUE” で設定します 

音量は **oFF** ↔ **Lo** ↔ **MID** ↔ **HI 1** ↔ **HI 2** から選べます
 音量オフ 音量大

工場出荷時は“H12”に設定されています

◎ CUE 信号を受信した時のアラーム音の種類を変更する

→ “F-05” で設定します 

アラーム音の種類は“A”（工場出荷時の設定）“B” “C” の3種類から選べます

◎ CUE 信号送信のオン / オフ → “F-04” で設定します

ON : CUE キーを押すと CUE 信号を送信します (工場出荷時の設定)

oFF : CUE キーを押しても CUE 信号を送信しません

使用しないグループを消去する

3～7グループで使用するモード時に、必要なグループだけを表示してスピーディーな運用ができます

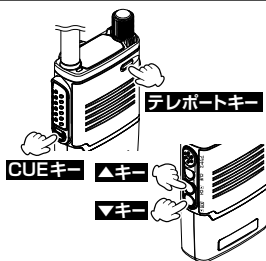
設定方法

1. テレポートキーを押しながら電源を入れます
2. テレポートキー / CUE キーを**短押**して使わないグループチャンネルを選びます

GA チャンネルと **GL** チャンネルはシステム上消すことができません

SRS95 の場合は [▲] / [▼] キーを**短押**しても選ぶことができません

3. CUE キーを**長押**して消去します
4. 電源を一度切ると設定終了です
5. エアクローンで他の SRS90/95 に内容を同期します。エアクローンの方法は“もし通話ができなくなったときはエアクローンで同期をし直す”（14 ページ）をお読みください



グループチャンネルの設定をリセットする

1. アクセスキーと CUE キーを同時に押しながら電源を入れます
2. “7GrP” を選んでテレポートキーを**長押**します
全てのグループチャンネル（GA ～ GL）が工場出荷時の設定（下表参照）に戻ります

GA	GB	GC	GD	GE	GF	GG	GL
05	18	02	16	07	13	19	11

チャンネルの表示をオン / オフする

周りの人に使用しているチャンネルがわからないように、チャンネルの表示を消すことができます



チャンネル表示あり



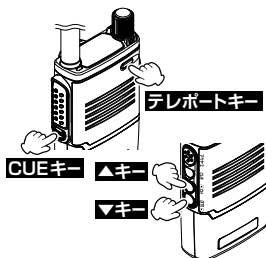
チャンネル表示なし

設定方法

1. CUE キーを押しながら電源を入れます
2. テレポートキーまたは CUE キー*を**短押し**して“F-21”を選びます
3. テレポートキーを**長押し**します
4. テレポートキーまたは CUE キー*を**短押し**して“D oF”を選びます
5. テレポートキーを**長押し**して設定を確定します
6. アクセスキーを**短押し**すると設定は完了です
(自動で電源がオフ → オンになります)

再びチャンネルを表示させるには、上記と同じ操作を行い手順4で“D oN”を選びます

※ SRS95 の場合は [▲]/[▼] キーでも可



SRS95 の場合は、トランシーバー側面の [AV] キーを**長押し**してもチャンネルの表示をオン / オフできます



画面の表示を 180 度回転させる

トランシーバーをベルトに装着した状態でも、画面の表示を 180 度回転して視認性を確保できます



通常表示

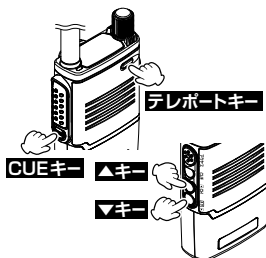


180 度回転した表示

設定方法

1. CUE キーを押しながら電源を入れます
2. テレポートキーまたは CUE キー*を**短押し**して“F-21”を選びます
3. テレポートキーを**長押し**します
4. テレポートキーまたは CUE キー*を**短押し**して“DREV”を選びます
5. テレポートキーを**長押し**して設定を確定します
6. アクセスキーを**短押し**すると設定は完了です
(自動で電源がオフ → オンになります)

表示を戻すには、上記と同じ操作を行い手順4で“D oN”を選びます



※ SRS95 の場合は [▲]/[▼] キーでも可

SRS95 の場合は、トランシーバー側面の [AV] キーを**短押し**しても表示を回転できます

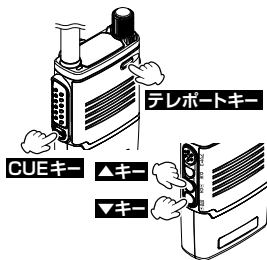


通話エリアを拡大する（中継器を使用する）

通話相手との間に障害物がある場合や、距離が離れている場合など、電波が届かずに通話できないときは、中継器を中間点に設置することで通話エリアを広げることができます

設定方法

1. CUE キーを押しながら電源を入れます
 2. テレポートキーまたは CUE キー※を**短押**しして“F-15”を選びます
 3. テレポートキーを**長押**します
 4. テレポートキーまたは CUE キー※を**短押**しして“RPF”を選びます
 5. テレポートキーを**長押**して設定を確定します
 6. アクセスキーを**短押**します
 - ・自動で電源がオフ → オンになり、運用モードが“2つのグループで使うモード”になります
 - ・中継器を使用している時は運用モードは“2つのグループで使うモード”に固定されます。運用モードを変更する時は、上記と同じ操作を行い手順4で“oFF”にしてください
 7. 中継器で使用するチャンネルにあわせませ
チャンネルの変更方法は“マニュアルでチャンネルを変える”（29 ページ）を参照してください
 8. 中継器を使用した通話の方法は、中継器の取扱説明書を参照してください
- ※ SRS95 の場合は [▲]/[▼] キーでも可



全体設定

32種類の機能設定で、本機の設定を使いやすくカスタマイズすることや、様々な機能を動作させることができます

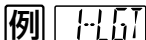
①

CUE キーを押しながら
電源を入れます

ツマミをまわして電源を入れます



設定項目が
表示されます



②

テレポートキーまたは CUE キーを
短押しして設定する項目を選びます



SRS95 は
▲/▼キーでも
選択できます



③

テレポートキーを
長押し



現在の設定が点滅します



④

テレポートキーまたは CUE キーを
短押しして設定値を変えます



SRS95 は
▲/▼キーでも
選択できます



⑤

テレポートキーを長押し
すると設定を確定します



⑥

アクセスキーを短押しすると
設定は完了です

自動で電源が
オフ → オンになります

アクセスキー



機能項目	出荷時の設定	機能
画面のバックライト点灯/消灯 画面表示  室内イベントなどで画面のバックライトを消しておきたいような場合にバックライトを消すことができます		 : 画面のバックライトは常に点灯します  : 画面のバックライトは点灯しません。 LED インジケータは点灯します  : 画面とLED インジケータは点灯しなくなります
ビーブ音量 画面表示  インカムを操作したときに鳴るアラーム音のオン/オフを選択することができます		     音量オフ 音量小 → → 音量大
CUE アラーム音量 画面表示  CUE 信号を受信した時に鳴る CUE アラーム音の音量を選択することができます		     音量オフ 音量小 → → 音量大
受信アラーム音量 画面表示  受信時に鳴る通話開始・終了を確認するアラーム音の音量を選択することができます。(通常はオンにしておき、相手の通話の始めと終わりをビーブ音で確認できます)		     音量オフ 音量小 → → 音量大
送信アラーム音量 画面表示  送信時に鳴る通話開始・終了を確認するアラーム音の音量を選択することができます		     音量オフ 音量小 → → 音量大
内部マイク感度 画面表示  相手から「声が小さい」と言われた時に、内部マイクの感度を調節することができます		     感度小 → → → 感度大
外部マイク感度 画面表示  外部マイク使用時に外部マイクの感度を調節することができます		     感度小 → → → 感度大

機能項目	出荷時の設定	機能
設定内容転送 画面表示  セットモードで設定した内容をグループ内の他の SRS90/95 にコピーすることができます	—	1. 設定を送るインカムと受けるインカムを“8-COPY”にあわせて、テレポートキーを長押しします (“TX” が点滅します) 2. 設定を送るインカムのテレポートキーを短押しして “TX” が点滅したら、アクセスキーを長押しします 3. コピーが終了したら電源を切ります
アクセスキー動作 画面表示  送話するときの動作を選択することができます		 : キーを押し続けているときだけ送信します。放すと受信に戻ります  : キーを短押しで送信を開始し、話し終わると自動で受信に戻ります。周りの音で受信に戻らない時はもう一度キーを押すと受信に戻ります。静かな場所で使う場合に適しています  : キーを短押しで送信を開始し、話し終わると自動で受信に戻ります。通常はこの設定で使います  : キーを短押しで送信を開始し、話し終わると自動で受信に戻ります。話しているのに受信状態に戻ってしまう場合はこの設定にします  : キーを短押しすると送信を開始し、もう一度短押しするまで送信を続けます  : キーを押しても送信しません。受信専用になります
受信アラーム音 画面表示  受信時に相手の通話開始・終了を確認するアラーム音をオフにすることができます		 : 受信開始と受信終了時にアラーム音が鳴ります  : 相手の通話を受信開始した時にだけアラーム音が鳴ります  : 相手の通話が終了した時にだけアラーム音が鳴ります  : アラーム音は鳴りません
送信アラーム音 画面表示  送信時に自分の通話開始・終了を確認するアラーム音を鳴らすことができます		 : 送信開始と送信終了時にアラーム音が鳴ります  : 送信を開始した時にだけアラーム音が鳴ります  : 送信が終了した時にだけアラーム音が鳴ります  : アラーム音は鳴りません
CUE を送信しない 画面表示  CUE 信号の送信機能をオフにすることができます		 : CUE キーを押すと CUE 信号を送信します (通常はこの状態で使います)  : CUE キーを押しても CUE 信号を送信しません

機能項目	出荷時の設定	機能
CUE アラーム音を変える 画面表示 F-05 CUE 信号を受信した時に鳴るアラーム音を好みに合わせて選択することができます	A	A B C 好みにあわせて 3 パターンから選択することができます
外部アクセサリ接続時のアクセスキー動作 画面表示 F-06 外部アクセサリを接続した時の、本体アクセスキーを無効にすることができます	ON	ON : 外部アクセサリを接続しても、インカム本体のアクセスキーは有効です OFF : 外部アクセサリを接続すると、インカム本体のアクセスキーは無効になります
外部アクセサリ接続時の音量設定 画面表示 F-07 外部アクセサリを接続した時の、オーディオ出力音量を変えることができます	Lo	Lo : タイピンマイクでイヤピースを使用する時に適した音量になります HI : スピーカーマイクロホンを使用する時に適した音量になります
外部マイクのセカンダリ PTT 画面表示 F-08 外部マイクのセカンダリ PTT 機能をオンにすることができます	OFF	ON : 外部マイクのセカンダリ PTT 機能が有効になります OFF : 外部マイクのセカンダリ PTT 機能は動作しません
送信中確認音 画面表示 F-09 イヤピースやスピーカーマイクを接続している時、送信中であることを知らせる「ブッ……ブッ……」と鳴る音をオフにすることができます	ON	ON : 送信中に「ブッ……ブッ……」と鳴り、送信中であることがわかります OFF : 送信中確認音は鳴りません
スケルチレベル 画面表示 F-10 スケルチは雑音をカットする機能です。信号が無い時でも頻繁に「ザ、ザ」という雑音が耳障りなときは、数字を大きくします	01	01 ~ 04 : 設定値を大きくすると雑音は消えやすくなりますが、弱い電波が聞こえなくなることがあります
イヤホン断線検出 画面表示 F-11 接続したイヤホンケーブルの断線を検出する機能をオフにすることができます	ON	断線を検出する機能がオンになります。 ON : 断線時は電源を入れたときに Error が点滅表示します OFF : 断線を検出する機能がオフになります

機能項目	出荷時の設定	機能
コンパンダ 画面表示  相手が話している時に聞こえる「ザー」というノイズを低減し、相手の声を聞き取りやすくする機能をオンにすることができます	 	 : コンパンダ機能がオンになります (通常はこの状態で使用します)  : コンパンダ機能がオフになります
バッテリーセーブ 画面表示  バッテリーの消費を抑える機能のオン/オフを選択することができます		 : バッテリーセーブ機能がオンになります (通常はこの状態で使用します)  : バッテリーセーブ機能がオフになります
オートパワーオフ 画面表示  一定時間何も操作を行わない場合に、自動的に電源が切れるまでの時間を設定することができます		 : 自動で電源はオフになりません (通常はこの状態で使用します)     : 選択した時間何も操作を行わないと自動的に電源が切れます
レピータ (中継器) 設定 画面表示  中継器を使用して通話エリアを拡大したり、電波の弱いエリアの通話を改善することができます。中継器の使用方法は、中継器の取扱説明書を参照してください		 : 通常の通話 (交互通話) をする時に選びます  : 当社のファスト機能対応中継器を使用して中継通話を行う時に選びます  : アクセスキーを押しながら話す、当社のファスト機能対応中継器を使用した中継通話を行います。CUE キーを押しながら話す、中継器を使わないローカル通話を行います  : ファスト機能未対応の中継器を使用して中継通話を行う時に選びます  : アクセスキーを押しながら話す、ファスト機能未対応中継器を使用した中継通話を行います CUE キーを押しながら話す、中継器を使わないローカル通話を行います
レピータ (中継器) タイプ 画面表示 	 	 : 中継用チャンネル 01 ~ 18 を使用する時に選びます (通常はこの状態で使用します)  : 中継用チャンネル 19 ~ 27 を使用する時に選びます
送信出力 画面表示  中継器を使用した通話時の送信出力を選択することができます	 	 : 連続して 3 分間送信すると一度 2 秒間受信状態になります。その後再び 3 分間連続送信できます (10mW 送信)  : 時間の制限が無く連続送信できます (1mW 送信)

機能項目	出荷時の設定	機能
秘話 画面表示 他のグループに自分のグループの通話内容を聞き取りにくくすることができます		: 秘話機能は動作しません（通常はこの状態で使います） : 秘話モードを使用する時に、どれかを選択します 通話するグループ全員が同じタイプに合わせてください
PA（構内アナウンス）機能 画面表示 当社の EXR100A、PSU10 の PA 機能搭載機から音声を出すことができます		: 当社の EXR100A や PSU10 の PA 機能搭載機へ送信して、構内アナウンスをおこなうことができます : 構内アナウンスをおこなうときに、他のトランシーバーからは音は出さないで EXR100A や PSU10 のスピーカーからだけ音を出します : PA（構内アナウンス）機能は動作しません
チャンネル表示タイプ 画面表示 チャンネル番号の表示方式を切替えることができます（通常は D2 で使います）		通常通話用チャンネルの表示 : -1 ~ -9 : 01 ~ 11 中継用チャンネルの表示 : 12 ~ 29 : 10 ~ 18 : 01 ~ 27
チャンネル表示のオン / オフと画面の回転 画面表示 チャンネル番号の表示を消したり、画面の表示を 180 度回転できます		: チャンネル番号が表示されます : チャンネル番号の表示が消えます : 画面の表示を 180 度回転します
自動 CH 移動機能 画面表示 送信時間制限（3分間連続して送信すると自動で送信が中断されその後2秒間送信できなく規則）を回避するため、送信が中断する前に自動でチャンネルを移動して通話を続けることができる機能をオン / オフします		: 自動的にチャンネルを変更して通話を続けることができます : 3分間連続して送信すると送信が中断し、その後2秒間は送信できなくなります
出荷時リセット 画面表示 (点滅) 全ての設定を工場出荷時の状態に戻すことができます	—	1. “RESET” にあわせませす 2. テレポートキーを長押しします 3. 工場出荷時の状態に戻ります

ヤエスコネクトの機能を 使わないモード

**ヤエスコネクトの機能を持たないトランシーバーと
通話する時のモード（ノーマルモード）です**

ヤエスコネクトの機能を使わないモード（ノーマルモード）

このモードで運用する場合は、始めにグループ内の全ての SRS90/95 の運用モードを“Nor”に変更してください

変更方法は“① 始めに運用モードを変更する”（10 ページ）を参照してください

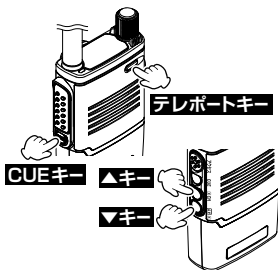
ヤエス コネクト プロの機能は使えません

- ・工場出荷時は A チャンネルだけで通話を行う設定になっています
 - ・テレポート機能設定項目“**所属グループ**”を“GR AB”にすると、A チャンネルと B チャンネルどちらのチャンネルの信号も受信できます
- 同時に、全体設定項目“**F-19**”を“oFF”にすると、**アクセスキー**を押すと“A チャンネル”で送信、**CUE キー**を押すと“B チャンネル”で送信します

現在のチャンネルを変更する

使用するチャンネルを 01 ～ 20 の中から選んで変更することができます

1. テレポートキーを**短押し**して変更したいチャンネル（“A”または“B”チャンネル）を表示させます
2. テレポートキーを**長押し**します（チャンネル番号が点滅します）
3. 新しいチャンネルを選びます（01 ～ 20 から選びます）
SRS90 の場合：テレポートキー/CUE キーを押して選びます
SRS95 の場合：[▼]/[▲]キーを押しても選ぶことができます
4. テレポートキーを**長押し**するとチャンネルの変更は完了です

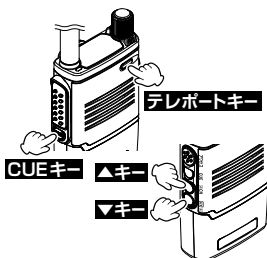


A チャンネルと B チャンネルの2つのチャンネルを使用する

A チャンネルと B チャンネルの信号を同時受信することができます、また送信するチャンネルをテレポートキーの短押しで切り替える（A チャンネルまたは B チャンネル）ことができます

設定方法

1. テレポートキーを押しながら電源を入れます
2. テレポートキーまたは CUE キー*を短押しして“GR A”を選びます
3. テレポートキーを長押しします
4. テレポートキーまたは CUE キー*を短押しして“GR AB”を選びます
5. テレポートキーを長押しして設定を確認します
6. 一度電源を切ると設定は完了です



※：SRS95 の場合は [▼]/[▲] キーでも可

信号を受信した時のピープ音で A-ch の信号か B-ch の信号かを区別できます

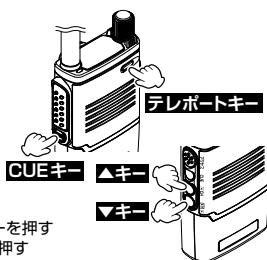
A チャンネルの信号を受信した時 → ビッ

B チャンネルの信号を受信した時 → ビビッ

セカンダリ PTT (CUE を押して B チャンネルで送信する)

A チャンネルと B チャンネルの2つのチャンネルで運用する時に、CUE キーを押すと B チャンネルで送信するように設定できます

1. CUE キーを押しながら電源を入れます
2. テレポートキーまたは CUE キー*を短押しして“F-19”を選びます
3. テレポートキーを長押しします
4. テレポートキーまたは CUE キー*を短押しして“oFF”を選びます
5. テレポートキーを長押しします
6. アクセスキーを短押しすると設定は完了です（自動で電源がオフ → オンになります）



A チャンネルで送信するとき → アクセスキーを押す

B チャンネルで送信するとき → CUE キーを押す

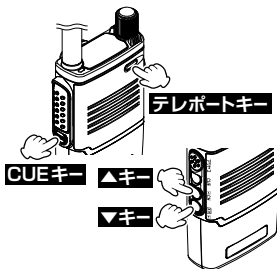
※ 1：SRS95 の場合は [▼]/[▲] キーでも可

通話エリアを拡大する（中継器を使用する）

通話相手との間に障害物がある場合や、距離が離れている場合など、電波が届かずに通話できないときは、中継器を中間点に設置することで通話エリアを広げることができます

設定方法

1. CUE キーを押しながら電源を入れます
 2. テレポートキーまたは CUE キー*を**短押し**して“F-15”を選びます
 3. テレポートキーを**長押し**します
 4. テレポートキーまたは CUE キー*を**短押し**して“RPF”を選びます
 5. テレポートキーを**長押し**して設定を確定します
 6. アクセスキーを**短押し**します
 - ・自動で電源がオフ → オンになり、運用モードが“2つのグループで使うモード”になります
 - ・中継器を使用している時は運用モードは“2つのグループで使うモード”に固定されます。運用モードを変更する時は、上記と同じ操作を行い手順4で“OFF”にしてください
 7. 中継器で使用するチャンネルにあわせませす
チャンネルの変更方法は“マニュアルでチャンネルを変える”（29 ページ）を参照してください
 8. 中継器を使用した通話の方法は、中継器の取扱説明書を参照してください
- ※ SRS95 の場合は [▲]/[▼] キーでも可



ノーマルモード時のレポート機能の項目リスト

グループ内の全ての SRS90/SRS95 の設定内容を同期したり、必要に応じて使用するチャンネル（A または B チャンネル）の設定を変更します

レポートキーを押しながら電源を入ると、設定モードになります

設定を変更する操作方法は「レポート機能を変更する」（24 ページ）を参照してください

項目	出荷時の設定	機能
エアクローン 1 台の SRS90/95 で設定した内容を他の SRS90/95 にコピーすることができます	—	 エアクローン受信待機  エアクローン送信 操作方法は「もし通話ができなくなったときはエアクローンで同期をし直す」（20 ページ）を参照してください
グループ ID 同じグループであることを識別する ID 番号です。ID 番号が違っていると通話できません。他のグループが同じ ID 番号を使っていて混信が起こる場合は、ID 番号を変えます		 “ID 00” ～ “ID 99” の中から選びます 操作方法は「グループ以外の通話が聞こえる時はグループ ID を変える」（21 ページ）を参照してください
所属グループ 所属グループ GR A A チャンネルだけで運用します 所属グループ GR AB A チャンネルと B チャンネルの両方のチャンネルで運用します		 受信、送信共に A チャンネルだけで行います 受信：A チャンネルと B チャンネルのどちらでも受信可能 送信：アクセスキーを押すと A チャンネルで送信します。B チャンネルで送信する時はレポートキーを短押しして B チャンネルに切り替えてからアクセスキーを押します なお、全体設定の「F-19 PA（構内アナウンス）機能」を“OFF”にすると、アクセスキーを押すと A チャンネルで送信、CUE キーを押すと B チャンネルで送信します 
A チャンネル / B チャンネル “A” と “B” のそれぞれに設定されたチャンネルを変更することができます	 	“01” ～ “20” の中から選びます A と B を同じチャンネルにすることはできません チャンネルの変更方法は「マニュアルでチャンネルを変える」（29 ページ）を参照してください

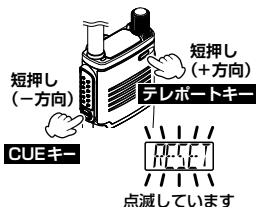
正常に動かない時は、工場出荷時の状態に戻す（リセット）

CUE キーを押しながら
電源を入れます

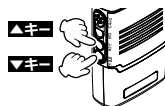
ツマミをまわして
電源を入れます



テレポートキーまたはCUEキーを
短押しして RESET を選びます



SRS95 は▲/▼キーでも
選択できます



テレポートキーを
長押しします



工場出荷時の
状態に戻ります

故障かな?と思う前に

間違った操作をしていませんか? 修理を依頼される前にお確かめください

◎ 電源が入らない!

- ・リチウムイオンバッテリーが消耗していませんか?
→ リチウムイオンバッテリーを充電してください。
- ・リチウムイオンバッテリーの端子が接触不良になっていませんか?
→ 端子を乾いた布で拭いてください
- ・リチウムイオンバッテリーが古くなっていませんか?
→ 新しいリチウムイオンバッテリーとお取り替えください

◎ 送信できない!

- ・アクセスキーを正しく押していますか?
- ・アクセスキー動作が“受信専用”になっていませんか?

◎ 音がでない!

- ・相手局と同じグループ ID に設定していますか?

◎ 通話できない!

- ・相手局と同じチャンネルに設定していますか?
- ・相手局との距離が離れすぎていませんか?
- ・相手局と同じグループ ID に設定していますか?
- ・秘話通信機能が動作していませんか?
→ お互いに秘話通信機能を動作させて、秘話のタイプを一致させないと通話できません

アフターサービス

正常なご使用状態で万一故障した場合は、お手数ですがお買い上げいただきました販売店にご相談ください。製品に関するお問い合わせは、お買い上げいただきました販売店または、当社国内営業部までお願いします。

八重洲無線株式会社

〒140-0013

東京都品川区南大井 6-26-3 大森ベルポート D-3F

TEL : 03-6404-6525

- ◎ 保証期間はお買い上げの日より 3 年間です
本製品には保証書が添付されています。お買い上げいただいた日から 3 年以内に、取扱説明書に従った正常な使用状態で故障した場合には、無料で修理をお引き受けします
誤った使い方や過失などによる故障や破損は、保証期間中であっても有償修理の対象となる場合があります
- ◎ 保証書は大切に保管してください
保証書を紛失しますと、保証期間中に発生した故障でも保証期間が経過したものとして有償扱いにさせていただきますのでご了承ください
また、お買い上げ日・販売店名等の必要事項が記入していない保証書も無効扱いにさせていただきますので、お買い上げいただきました販売店名・お買い上げ年月日等が正しく記入されていることをご確認のうえ、大切に保管してください
- ◎ リチウムイオンバッテリーは消耗品のため保証対象外です
化学的経年劣化なども保証対象外になります
- ◎ リチウムイオンバッテリーは消耗品です
充放電を繰り返すと使用できる時間が徐々に短くなります。充電しても使用時間が極端に短くなった場合はリチウムイオンバッテリーの寿命です

防水性能について

本機は、IEC 国際規格 IP68 相当 (防塵等級 6^{*1}、防水等級 8^{*2}) の防塵、防水性能を有しています。この性能を末永く確保していただくために、必ずご使用になる前に下記の項目をご確認ください

- ◎ キーやボタンのラバー、MIC/SP 端子のアクセサリコネクタ保護カバー、リチウムイオンバッテリー接合部分などに、キズ、劣化、汚れがないか確認してください
- ◎ 海水砂泥などが付いたときは、ケースが損傷していないことを確認した上で、真水の溜め水で濯ぎ、すぐに乾いた布で拭き取ってください
- ◎ 本機の汚れを落とす際に、蛇口からの水を直接当てたり、高圧の洗浄機やエアダスターを使用したり、スチーム洗浄をおこなったりしないでください
- ◎ 本機は、水中での使用はできません

※ 1 : 粉塵が内部に侵入しない

※ 2 : 水深 1.5m に 30 分間没しても有害な影響を受けないこと

定格

送受信周波数	(12.5kHz ステップ) 交互通話 (単信) 422MHz 帯 (20ch) 中継通話 (半複信) 421MHz 帯 / 440MHz 帯 (27ch)
電波型式	: F3E、F2D
通信方式	: 単信方式および半複信方式
送信出力	: 10mW 以下 / 1mW 以下
受信感度	: - 15dB μ V 以下 (@ 12dB SINAD)
低周波出力	: 内蔵スピーカー 700mW 以上 (@8 Ω 、10% 歪時)
動作温度範囲	: - 10℃ ~ + 50℃
定格電圧	: DC 3.6V (リチウムイオンバッテリー) DC 4.5V (単3形乾電池3本)
寸法	: 約 58 (幅) × 83 (高さ) × 23.5 (奥行き) mm (SBR-51LI 装着時、アンテナおよび突起部を含まず)
重量	: 約 165g (SBR-51LI 装着時)
防塵・防水	: IP68 ^{*1}

MIL-STD-810H 規格^{*2} 準拠

RoHS 指令準拠

この定格は性能向上のため予告なく変更することがあります

- ※1 IEC (国際電気標準会議) に基づく防塵や浸水に関する保護等級
防塵性: IP6X (耐塵形) 粉塵の侵入から完全に保護されていること
防水性: IPX8 (水中形) 真水 / 静水に水深 1.5m の位置で 30 分間没しても機器の動作に影響をおよぼさないこと
- ※2 アメリカ国防総省が調達する物資に対して、過酷な環境条件などに耐えることを試験し信頼性と耐久性を確認するために定められている品質基準

安全上のご注意 ～必ずお読みください～

本機を安全に正しくお使いいただくために、次のことに十分ご注意ください



危険

誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています



警告

誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています



注意

誤った使い方をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています



行ってはならない禁止事項です (例  分解禁止)



必ず守っていただきたい注意事項です



危険



自動車を運転しながら交信や操作をしない
事故の原因になるだけでなく、道路交通法違反になります



運転者が使用するときには、車を安全な場所に止めてからご使用ください



航空機内や病院内などの“使用を禁止された区域”では電源を切る

電子機器や医療機器に影響を及ぼす場合があります



引火性ガスの発生する場所や高所などの危険な場所で使用しない

発火事故や落下事故などの原因になります



電源端子やリチウムイオンバッテリーの端子にはんだ付けやショートをしない

火災・漏液・発熱・破裂・発火などの原因になります
ネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運ばないでください



リチウムイオンバッテリーを火のそばや、炎天下など高温の場所で充電・使用・放置しない
火災・漏液・発熱・破裂・発火などの原因になります



警告



分解や改造をしない

本機は電波法に基づく無線局で使用する通信機器です

分解や改造は違法ですのでおやめください。
また、ケガ等の事故や故障の原因になります



自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しない

本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります



当社指定以外の充電器を使用しない

火災や故障の原因になります



煙が出ている、変な臭いがするときは電源スイッチを切って、リチウムイオンバッテリーを外す

火災や故障の原因になります。お買い上げいただきました販売店にご相談の上、修理を依頼してください



注意



指定以外のオプションを使用しない

ケガの原因になります

また、本体の故障や破損の原因にもなります



強い衝撃を加えたり、投げつけたりしない
故障の原因になります



リチウムイオンバッテリーを指定の充電器で充電するときの温度範囲は5℃～35℃です
これ以外の温度での充電は、故障の原因になります



磁気カードなどを無線機に近づけない

キャッシュカードなどの内容が消去されることがあります



無線機を直射日光の当たる場所や熱器具の近くに放置しない

変形や変色等の原因になります



シンナーやベンジンなどでケースを拭かない

変形や変色等の原因になります

ケースが汚れた場合には、乾いた柔らかい布で拭き取ってください

数字

1つのグループで使う	12
1つのグループで使うモード	2
2つのグループで使う	13
2つのグループで使うモード	3
3～7グループで使う	16
3～7グループで使うモード	3

C

CUE キーの操作	8
CUE 機能に関する設定	33
CUE (キュー) 機能	5

I

IP68	51
------------	----

L

LED インジケータ	9
------------------	---

M

MERGE 機能	15、17
----------------	-------

P

PCA 機能	17
--------------	----

あ

アクセスキーの操作	8
アクセスキーを押した時の動作を変える	32
アフターサービス	51
安全上のご注意	53

う

運用モードについて	12
-----------------	----

え

エアクローン	20
エリアリサーチ	4、18

お

応用編	23
お使いになる前に	10

か

外部マイクの感度を設定する	31
各部の名前と機能	8
画面の表示を 180 度回転させる	36
乾電池ケースの取り付け / 取り外し	7

き

基本的な通話のしかた	5
キュー機能	5
キュー機能に関する設定	33

く

グループ ID を変える	21
グループチャンネルの設定を リセットする	34
グループを消去する	34

こ

工場出荷時の状態に戻す (リセット)	50
故障かな?と思う前に	50
ご使用になる前の準備	6

し

充電をする	6
受信する時	5
使用しないグループを消去する	34
所属グループを選ぶ	14

す

スピーカーマイクの接続 / 取り外し	7
--------------------------	---

せ

正常に動かない時 (リセット)	50
セカンダリ PTT	47
全体設定	38

そ

送信する時	5、21
-------------	------

た

タイピンマイクの接続 / 取り外し	7
正しくご使用いただくために	1
正しくご使用になるために	2

ち

チャンネルの表示をオン / オフする.....	35
チャンネルを変更する	46
中継器を使用する.....	37、48

2

通話エリアを拡大する..... 37、48

7

定格.....	52
テレポートキーの操作.....	9
テレポート機能.....	15
テレポート機能の項目リスト (1つのグループで使うモード).....	25
テレポート機能の項目リスト (2つのグループで使うモード).....	26
テレポート機能の項目リスト (3～7グループで使うモード).....	28
テレポート機能の項目リスト (ヤエスコネクトの機能を使わない ノーマルモード).....	49
テレポート機能を変更する.....	24

の

ノーマルモード.....46

は

バッテリーの取り付け / 取り外し..... 7

 $\wedge$

便利な機能.....5

ほ

防水性能について 51

ま

マージ機能 15、17
マイクの感度を変える 31
マニュアルでチャンネルを変える 29

め

メンバーに合図を送る（キュー機能）..... 5

や

ヤエスコネクについて	1
ヤエスコネクの機能を使わないモード ..	46
ヤエスコネクプロ	1
ヤエスコネクライト	1

5

リセット 50

る

ローバッテリーアラート機能 7

わ

ワンクリックハンズフリー機能..... 5、30
ワンクリックハンズフリー機能の
感度を調節する..... 30

YAESU

Radio for Professionals

正常なご使用状態で万一故障した場合は、お手数ですがご購入いただいた販売店
または、下記までご相談ください

八重洲無線株式会社

〒140-0013 東京都品川区南大井 6-26-3 大森ベルポート D-3F

電話：03-6404-6525

URL：<https://connect.yaesu.com>

2509B-AS-1

Printed in Japan



E N O 4 2 U 0 0 0